



***** 会長挨拶 *****

和田 忠彦



中村前委員長の後を引き継いでから早1年が経過しました。各役員と共に事業推進に当たってまいりましたが、改めて前委員長始め歴代委員長・運営委員各位のご労苦に思いを致しております。

昨年度の諸行事を振り返る時、多くの会員皆様が各種行事へ積極的に参加をいただきました。また、行事の度に新会員にお会いする事もできました。本年度は会員皆様のお力もいただき、一層の会員増強を目指したいと考えております。

昨年度は、運営体制の整備という観点から、去る1月の臨時総会において規約改正をご承認いただきました。改正の趣旨は、連盟の組織運営の円滑化と協力体制の構築であり、「事業年度」「役員規定」および「役員会構成」等の変更を主たる内容としています。従って、新年度は、事業運営に対する役員の自覚と責務、役員会の機能充実が大きな課題になると考えます。

多くの高齢者が、テニス競技を通じて初期の目的（健康と生きがいづくり）を達成していくには、競技運営方法等についても、関係機関の高齢者競技団体へのご理解ご支援を粘り強く求めていく必要があります。役員一同鋭意努力致しますが、会員皆様の絶大なるご支援をお願い申し上げます。

なお、本年度は当連盟が「第19回東北マスターズテニス大会」の開催地として、大会運営の主管を担う事になりました。東北6県4巡目のトップに相応しい大会を目指して、実行委員会を発足させ準備に取り組んでおります。会員の皆様には、競技大会参加はもとより、東北6県のシニアプレーヤーとの宿泊懇親会へも是非多数ご参加いただき、テニスを通じて「生きる喜びと元気」を大いに交歓いただき、我々スタッフ一同の努力にお応えいただければこれに越した喜びはありません。

◆ 目 次 ◆

会長挨拶	会 長 和田 忠彦	1	年齢別大会に優勝して	村上 實	10
平成20年度活動報告	競 技 部		県南ブロックの活動状況	色摩 浩三	10
混合ダブルス大会		2	県北ブロックの交流会について	菊地 昭男	11
技量別ダブルス大会		2	第40号特集 <テニスと私>		
年齢別ダブルス大会		3	68才で始めたテニス	藤澤 多巳夫	11
連盟祭り		4	テニスで学んだこと	舘内 規之	12
対いわきVTC親善交流大会		4	私のテニスライフ	井澤 三幸	13
Weekday交歓会		5	機会を大切に	加藤 精一	13
行事への参加状況と問題点	大坂 俊明	6	テニスと私	水戸 真理子	14
対いわき交流大会に参加して	高橋 捷夫	7	平成21年度年間行事予定		15
第18回東北マスターズ大会に参加して			諸行事の参加申込方法・主要大会要項	事務局	16
	坂本 政記	7	ねんりんピック宮城県選手の推薦基準		20
ねんりんピック鹿児島に参加して	渋谷 みよ	8	平成20年度臨時総会報告	副会長 奈良 征一郎	20
3大会優勝者			連盟規約	事務局	21
混合ダブルス優勝の喜び	跡辺 清子	9	平成21年度の連盟組織体制	事務局	22
技量別大会に優勝して	片平 信行	9	クイズに挑戦!! <出題者:佐々木正敬>	p.14	

◆ 活動報告 ◆

競 技 部

混合ダブルス大会

技量別ダブルス大会

平成 20 年度の「混合ダブルス大会」は 6 月 2 日（土）に総勢 82 名の参加を得てシェルコムせんだいで開催されました。梅雨入りの真っ只中でしたが、当日は時折り薄日の射すいい天気となり、シェルコム特有の”眩しさ感”もあまり感じない絶好のコンディションの中、熱戦が繰り広げられました。

平成 20 年度の「技量別ダブルス大会」は 10 月 1 日（土）に総勢 82 名（6 月の混合ダブルス大会と全く同人数となりました）の参加を得て七北田公園コートで開催されました。

大会当日の天気は午前中が大雨の予報で心配されましたが、なんとか天気も味方してくれました。

5 月の「年齢別大会」が雨で流れていることもあり今回はなんとしても実施したかったので幸いでした。

クラス別参加者は次のとおりです。

クラス別参加者は次のとおりです。

Aクラス	18組	36名
Bクラス	15組	30名
Cクラス	8組	16名
合計	41組	82名

男子 A	11組	男子	44名
男子 B	10組	女子	38名
女子 A	7組	合計	82名
女子 B	8組		
フリーC	5組		
合計	41組		

A・Bクラスは大人数のため予選リーグは赤・青・緑の 3 つに組み分けを行い各組上位 2 チームによる決勝トーナメントを行う大激戦となりました。

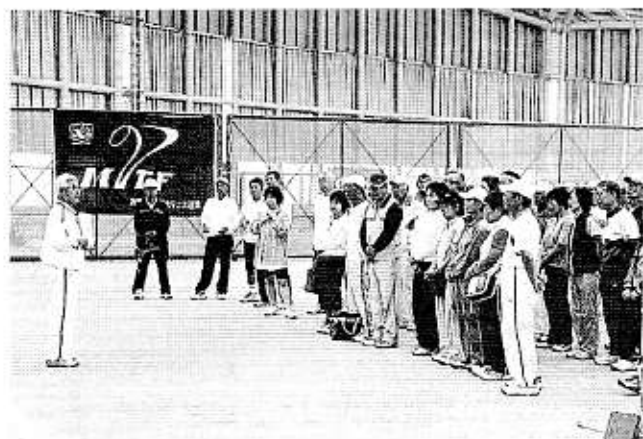
開会式が終わって試合が始まりましたが、「単独申込」の○さんが見当たらず連絡も取れない事象が発生しました。○さんのペアは、運営委員会の中で決めたものであり責任上かなり心配しましたが、結果的には“○さんの大幅な遅刻”で間に合い運営委員一同ホッと胸を撫で下ろしました。

特にAクラスは熱戦が続いたため試合進行が大幅に遅れ決勝戦がタイブレークのみで勝負を決する変則ゲームとなってしまいました。

今大会も試合数も多く、日の落ちる時間も早くなっていることから、ゲーム数の多いクラスを 5 ゲーム先取とすることも考えましたが、予定通り全試合を「ノーアド 6 ゲーム先取」で行い、決勝トーナメントは、いきなり 1 位は 1 位同士、2 位は 2 位同士の対戦として時間短縮をはかりました。

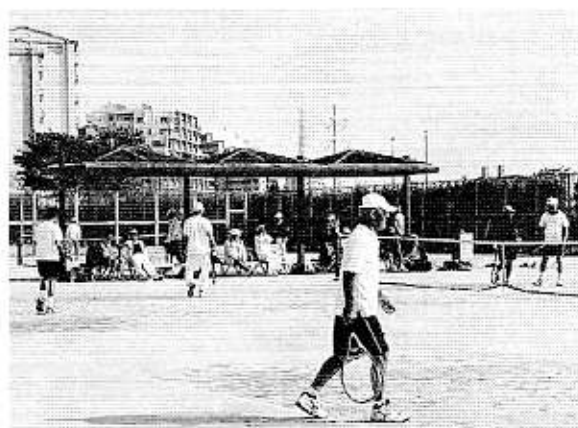
また今年度から参加者の赤・青・緑の組み分けは大会をスピーディーに進めるため、事前に「運営委員会」の中で“あみだくじ”を実施して決めさせてもらいました。

そのため、16時には全試合が終了したため最後まで大勢の会員に残っていただき盛り上がった閉会式となりました。



開会式（シェルコムせんだい）

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※



試合風景（七北田公園庭球場）

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

連盟祭り

平成20年11月1日(土)恒例の「連盟祭り」が79名(男子36名、女子43名)の参加の下、七北田公園テニスコート8面を使用し開催されました。

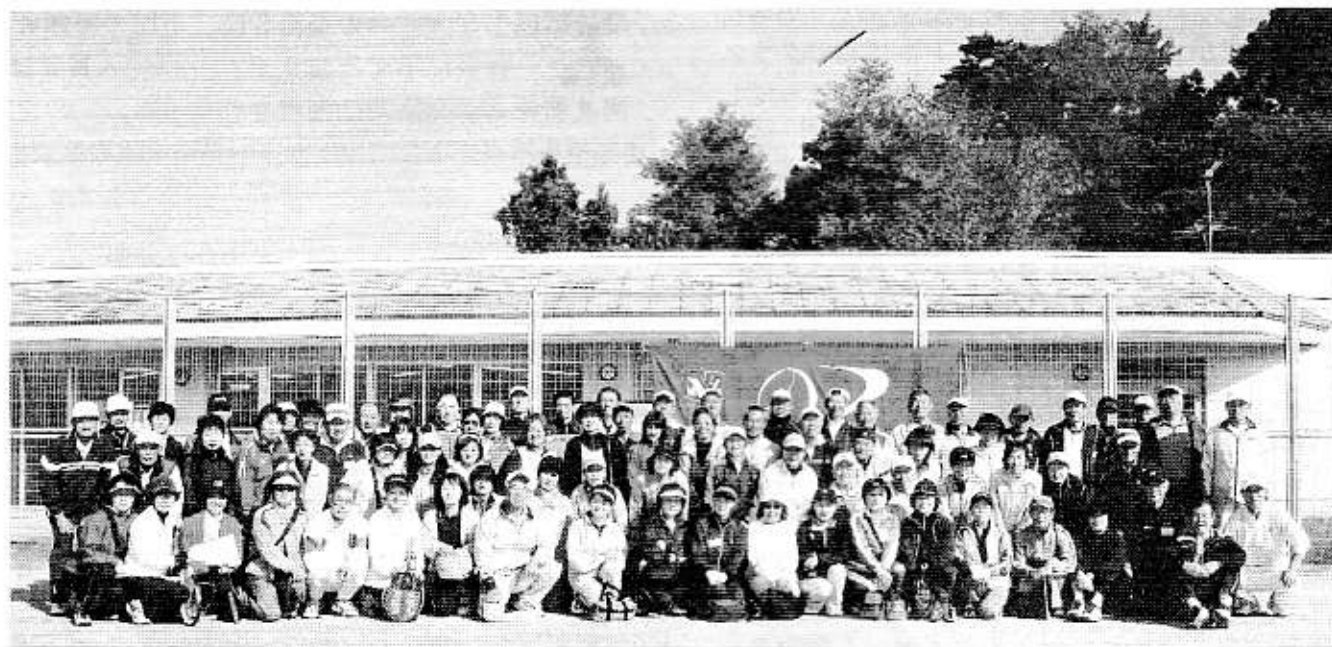
昨年より参加者が10数名少なくはありましたが、絶好のテニス日和に恵まれ、終日テニスを楽しみました。

試合は4チームに分かれての総当り対抗戦で、一つの対抗試合数は16試合(男子D4、女子D6、混合D6)20分間時間制、ノアド方式で、時間切れの最後のゲームもその時点でリードしているチームがそのゲームを取る方式で、時間一杯全力で戦

う姿が見られました。

結果は、緑組、赤組、青組、桃組の順でした。賞品は4種類、同等品が全員でもらえますが、袋の中は見ることが出来ないのも、どの商品を選ぶかがキャプテンの腕の見せどころでした。怪我人もなく、好天に恵まれ予定通り無事「祭り」が終了したことは何よりでした。余力のある人はコート使用終了時間までゲームを楽しんでいました。

尚、各組キャプテン(男・女担当役員)は当日まで一部の参加者が定まらず、ペアの組合せにご苦労されたことを特に記しておきます。



連盟祭りの参加者(七北田公園庭球場)

対いわきVTC親善交流大会

9月13日(土)、14(日)の2日間に亘りいわきベテランテニスクラブ(IVTC)と22回目の親善交流大会がグリーンピア岩沼(砂入り人工芝6面)で行われました。

初日は薄日のさす穏やかなテニス日和、参加者はみやぎいきいき側が男子28名、女子19名の小計47名、いわきVTC側は男子10名、女子12名の小計22名、合計69名でした。いわき側の参加者が少なかったため、みやぎ側より派遣し、1試合30分時間制限の対抗戦を行いました。

初日は男子ダブルスがみやぎ側の12勝15敗3分、女子ダブルスが9勝12敗3分で、合計21勝27敗6分とみやぎ側の追撃可能な結果で、翌日の試合に希望をつなぎました。

夜は同施設内のモンタナリゾートに宿泊、アトラクションの部は賑やかに歓談、終止笑い声の絶えない楽しい懇親会が催されました。

2日目は快晴、混合ダブルスの白熱したゲームがコート上で繰り広げられました。試合はみやぎ側の懸命の挽回の掛け声もむなしく18勝33敗3分と大差がつき、2日間総計で39勝60敗9分という結果になりました。今回もいわきVTCの大勝となり、みやぎ側の一層の奮起が必要なることを感じました。

なお、今回は幸い天気にもぐまれましたが、念のため雨天時用に体育館をおさえており、天候の変化を気にすることなく出来ました。また、ホテルのサービス係りが「これほどビールを飲む会合は初めてです。こんなに喜んで利用していただけるとサービスのし甲斐があります。」と言っていたのが印象的でした。

◆ 行事への参加状況と問題点 ◆

競技 大坂 俊明

連盟主催の行事への会員の参加状況がどのようになっているのかを知るために、各種行事のうち Weekday (WD) 交歓会と三大大会(年齢別、技量別、混合のダブルス大会)の参加状況を各会の参加者名簿を基に調べてみた。調査期間はWD交歓会は平成15年から18年までの4年間、三大大会は16年から18年までの3年間である。連盟祭りは今回は含まれていない。その結果は図1から図3に示されている。

行事への参加状況

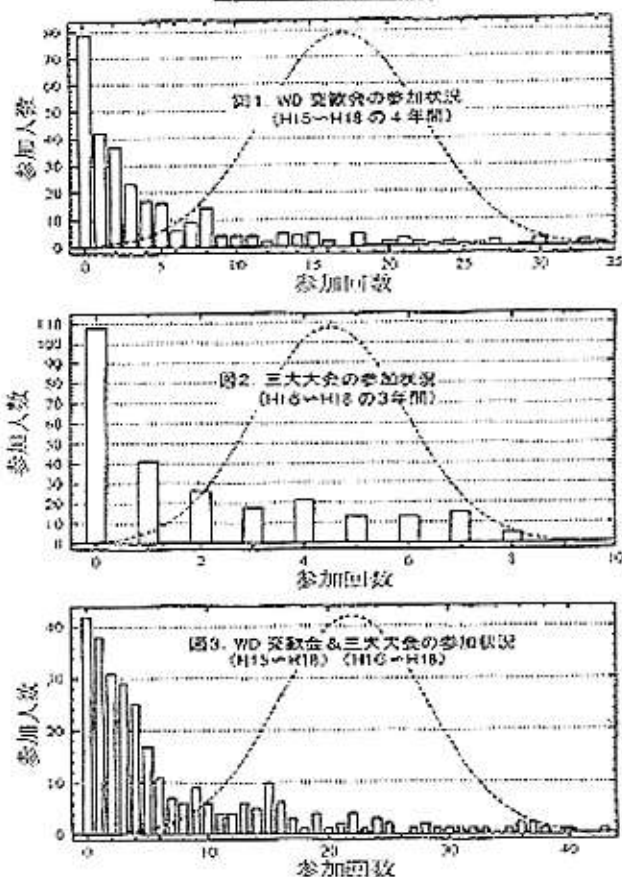


図1はWD交歓会の4年間の参加状況を示したものである。横軸は各会員の参加した回数、縦軸はその参加回数の人数を表している。WD交歓会全34回のうち、全てに参加した人(1名ではあるが)もいれば、4年間全く参加しなかった人が最も多くて実に79名の多さにのぼる。会員数は年度にもよるが、大体260人前後なので3分の1弱が全く参加していないことになる。しかも、参加回数の少ない会員程多く、回数の多い会員が少ないという急な右肩下がりの、参加状況としては好ましくない分布を示している。ちなみに、図のなかの鎖線は、通常想定される分布曲線を示した

ものであるが、調査結果はそれと全く違う分布を示していて、行事内容、運営に大きな問題があることを示唆している。

図2は三大大会の同様の図である。すなわち、平成16、17、18年の3年間の大会全9回の参加状況を示している。傾向はWD交歓会と同様で、三大大会では実に108名もの会員の方が3年間全く参加していない、という結果を示している。これは会員10人のうち4人強の人が一度も参加していないことになる。

図3は図1と図2をまとめたもので、WD交歓会の4年間、三大大会3年間の参加回数の和を示している。この場合も参加回数の少ない会員ほど多く、回数の多い人が少ない、という右肩下がりの傾向は同じで、想定参加分布(鎖線)からはほど遠い状況であることに変わりはない。

上の調査結果は何を意味しているのだろうか? 年会費2千円(家族会員は3千円)を払いながら3年ないし4年もの間全く行事に参加しない、あるいは1、2回しか参加しない会員がこれ程多くいるということは、やはり連盟の行事のあり方や内容、運営が適切でない、ということの意味しているのだろうか? 会費は年2千円でそれ程高くもないから、取り敢えず払っておこうかという余裕のある? 会員が多いということなのか?

参加できない理由は人それぞれ色々あるだろうと思われる。何分高齢者の集まりですから、体調が優れないとか行事の日時を忘れていた、申し込みのハガキを出し忘れた、老親の面倒をみないといけない、まだ現役で仕事が忙しい、適当なパートナーがいない、体力や技量に自信がなくて参加するのに躊躇する、会員に知り合いが少ない、自分の属しているクラブでやっている方がよい、会場に行くのがしんどい、などなど。

連盟の年間行事はここ何年間か同じで、少々マンネリ化しているのかも知れません。行事を企画運営する運営委員会も当面の大会の運営や役割分担などをこなすのに精一杯の状態、どんな大会をどういう風に運営したら多くの会員にとって望ましいのか、といった議論をすることがあまりないことも事実で、なかなか妙案が浮かばないのが現状である。会員の皆さん、特にあまり参加していない方で、こうゆう大会なら参加したいのだが、というご意見がありましたら是非身近な役員あるいは事務局までお知らせください。会員一人一人の声が望ましい大会実現の原動力なのです。



◆ 対いわき交流大会に参加して ◆ 昔を偲ぶ（絶好調と絶不調）

高橋 捷夫

平成20年9月13、14日と、いわき親善交流大会がグリーンピア岩沼にて行われた。

第1回が昭和62年9月14日、今回で22回を迎えたことはすばらしきこと、且つ、連続してほぼ毎回参加の前委員長の中村さんには敬意を表します。

結果は「1日目の8ポイント差を縮めるべく、2日目全力をあげたが、雷の合図を境にずるずる負けの60敗39勝」となった。プレーはなんと楽しく出来たことか、閉会の挨拶は和田さんの「自宅までの無事の帰りが交流会」と、「手つなぎアーチ」で、いわきの選手を見送りました。

さて、私の記憶に残ったプレーを紹介したい。

1番目は館内さんとのペアで、対戦相手はベテラン館林さん・小田島さん(派遣)ペアである、完敗ムードで後半に突入し、何とかタイとしたが、あとわずかのところで、「ラブ・サーティ」で参ったと思った、そのとき館内さんの一言アドバイスで、「フォーティ・サーティ」となり、その瞬間、笛が鳴って逆転で勝利となる。

2番目が元気一杯の三浦さんとのペアで、相手は石巻菊池さん(派遣)ペアである。相手が強かろう・弱かろうと常に気合で勝負する姿勢は頼もしい、いつしか接戦で勝利しました。斉藤昭男さんが見ている「今までにない良い試合」とお褒めの言葉をいただき、「1日目絶好調」。

翌日は、我が元気一杯女性チームのなかでさわか樋口さんとペア、なんと悔し涙の完敗、「2日目絶不調」。➤

◆ 第18回東北マスターズ大会に参加して ◆ —好天による若き力の勝利—

坂本 政記

今年の東北マスターズテニス大会は平成20年10月7日(火)、8日(水)に天童市の山形県総合運動公園テニスコートで開催されました。山形県シニアテニス連盟の主管で行われ204名(女子86名、男子118名)と大変多くの方々が東北6県から集まりました。

110歳以上から140歳以上までの女子ダブルスの4種目と120歳以上から150歳以上までの男子ダブルスの4種目の合計8種目で熱戦が繰り広

ここで、「絶好調と絶不調」について昔を忍びつつ、持論を述べたい。

さて、少々話は変わるが、三浦さんが学生時代陸上競技選手であったとのこと、私も小学校時代より20代まで、陸上競技一筋(110mハードル)でした。高校時代は宮城県の渡辺選手(三浦さんと同期かな)と東北大会、大分インターハイ、岡山国体と決勝で対戦したが一步及ばず、学生時代は推薦枠もあって、宮城県のマラソン選手で今はなくなられたが、多くの後輩を育てた二階堂さんと一緒に合宿所で、二段ベットの上と下で寝泊りしていた、若かりし時代が懐かしく思い出されます。

述べたいことは、「なぜ、絶好調と絶不調が生じるのか」(皆さんが幾度か経験したこと)。陸上競技において、特に短距離選手は、なぜ「数十秒に全力」を発揮できるか、毎日の練習に弱くても試合に強い人、その逆の人もいます、強いだけでは勝てない。実は、試合前日までの調整・練習方法と、当日試合スタート時間の数時間前より準備体操を含むウォームアップを身に着けること。ポイントは「心地よい汗をかき、柔軟な体にするべき準備体操・ウォームアップと直前まで体を冷やさない」ことにつきます。

なお、60歳を過ぎれば、ほどほどにしないと後が続かない、「もう一度昔に戻りたい」。

最後に、記念写真撮影等々、大賀さんをはじめ幹事の皆さん御苦労サンでした。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※



受賞に輝いた選手の皆さん (山形県総合運動公園)

げられました。

初日は良い天気で大いに若さ溢れるプレーを發揮して、テニスを存分に楽しみました。そして、夜の一堂に会した懇親会でも華やかに大いに盛り上がり、地元山形の友人の踊りや民謡等をはじめ、各県の余興が続々と出され大変に賑やかな雰囲気に満たされました。

特にフィナーレを飾った花笠踊りには参加者全員が大きな輪を作り延々と続く踊りに時を忘れて老若男女が歌や踊りを楽しみました。

初日は各種目でリーグ戦が行われ、なかでも参加者が多い3種目では3ブロックでリーグ戦が展開され激戦が続きしました。ところが、夜になって初日のリーグ戦で全ての試合を終わってしまい翌日試合が無いペアが多く出て、宿泊せずに帰った方が良かったのではないかと言う話が出ました。そして協議の結果、急遽2日目に試合の無いペア同士による試合を組みプレーを楽しめるようになり大変良かったと思います。2日目も好天に恵まれ順次決勝トーナメントや決勝リーグ戦が進行しました。

今大会では宮城県的女子選手が目覚しい活躍が大変に目立ちました。女子110歳以上と女子120歳以上の2種目で糸井・郷右近ペアと石亀・千葉ペアが優勝しました。

また、男子では120歳以上で坂本・増田ペアが優勝しました。即ち、今大会では宮城県は全8種目中3種目に優勝するという快挙を成し遂げました。特に一番若い種目で男子も女子も優勝しています。他の県はそれぞれ1種目ずつの優勝でした。

さらに、準優勝も宮城県は3種目も獲得しました。女子110歳以上の倉中・山崎ペアと女子140歳以上の菅野・梅崎ペアそして男子140歳以上の舘内・松山ペアです。

特に、女子110歳以上では決勝戦が宮城県同士の対戦となり大いに盛り上がりました。

そして最年少男子は宮城県から参加1チームでしたが、坂本・増田ペアは、はからずも14チームが参加した120歳以上男子で優勝しました。初日のAブロックは7組中2組が4勝0敗で我々は6-0, 6-0, 6-1, 6-3でした。翌日この2組が対戦し6-5で我々が勝ち、2組とも決勝トーナメントに進み再度決勝で対戦し今度も6-1で岩手県ペアを破り優勝しました。

一方、140歳以上男子は参加者が多く3ブロックのリーグ戦で争われました。宮城県の舘内・松山と和田・菊池のペアがA・Bでブロック優勝し決勝リーグに進みましたが接戦の末敗れ2位と3位で

した。

この東北マスターズ大会は各種目リーグ戦となるため順位決定の面で微妙な局面が出てきます。リーグ戦の順位決定方法で勝敗が3チームで同率の場合次の取得ゲーム率で勝敗が決まります。取得ゲーム率は勝ゲーム数/全ゲーム数で示されるため一つの勝ゲーム数の差で順位が決まります。今回は男子150歳以上で6ペア中3ペアが4勝1敗となり取得ゲーム率での順位決定となりました。その結果は1位が29/43(=0.67)、2位が28/43(=0.65)、3位が28/44(=0.64)となり1ゲーム差で順位が決まりました。

今回のマスターズ大会は好天にも恵まれて大変に楽しく印象深い思い出を残してくれました。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

◆ ねりんピック鹿児島に参加して ◆

渋谷 みよ

かごしま⇒「かごしま、元気、ふれ合い、ゆめ噴火」をテーマとした鹿児島へ期待と重責を胸に10月24日朝、仙台空港を飛び立ちました。福岡空港で先発隊と合流、140名の県選手団が霧島のホテルに到着したのは午後6時を廻っていました。すっかり夕闇に包まれ、小高い丘の上のホテルに気がつきませんでした。朝にカーテンを開けると山も木々も深い緑一色で、紅葉のない九州を実感致しました。

元気⇒到着日の夕食は県勢一同で賑やかなひとときでした。長時間の移動にも拘らず、目を輝やかせてのスピーチに脱帽です。相部屋の80才の方は6度目の参加とか。又始球式で表彰されたゲートボール最高年令は88才の松島チームの男性でした。テニスで榮譽に輝いた方は、男性83才(大分)女性73才(広島)で、私達は彼女と対戦することになりました。英知に富んだプレーで、タイプブレイクの末勝をもぎ取りました。簡単には勝たしてくれないと思いました。

ふれ合い⇒一校一県運動を展開した主催側は、霧島市立小浜小学校のキッズを向けてくれました。開会式までの合間にクイズ等で楽しみ、又宮城の横断幕を作成したのも彼等でした。因みにこの幕を持って行進する役目が、「みやぎいきいきテニス」になり、ちょっと嬉しくなり(何の因果もないのに)これで明日の天気は大丈夫と確信したものです。岐阜の日本シニアの友と再会できたのも嬉しいことでした。相手に1ゲームもやらない試

した。

テニスを始めて30数年が経ちます。その間多くの人と出会い、感動を与えていただきました。多くの地域の方々とも交流することが出来ました。たった一球に泣いた試合も沢山経験しました。テニスはまさに人生の縮図のような気がします。自分との戦いでもあります。テニスは技量・年齢に関係なく生涯楽しめるスポーツだと思います。連盟にはいつかお役に立てる日が来るものと思っています。今後ともご指導よろしくお願ひします。

最後に長年高校生とテニスに関わっている者として一言。最近のラケット性能の向上により、テニスの技術も進化の一途をたどっている昨今、基本練習に是非ウッドのラケットを使わせてみたいものです。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※



年齢別大会に優勝して

村上 実

平成20年5月に予定されたこの大会が雨で変更になった。当初組んで大会出場予定だったパートナーが体調不良の為テニスを中断したので、パートナーを捜していた処、以前勤務していた会社のテニス部に共に所属していて私など遠くおよぶところではなかった加藤さんがいきいきテニス連盟に入会しておられることを知りパートナーをお願いして、これで最強のパートナーと組むことができました。

試合会場もシェルコムせんだいに変更になり、あの天井の威圧感、また目の弱い私は室内が苦手なので心配でしたが、第1試合は和田・館内組の強敵に対して私はミスしない様につなぎ役に徹し、パートナーに決めてもらう様に運び順調に勝つことが出来ました。第2、第3、第4試合は体も温まりコート雰囲気にも慣れ、体も思う様に動くことが出来て勝つことが出来ました。スコアから見ると圧倒している様に見えますが、1ゲーム、1ゲーム競い合って最後に勝利の女神が我々の方に勝利をくれたものと思っています。

20年度の終わりで、今年最初の試合で優勝出来た事は、21年度の試合に幸先が良いと喜んでいきます。春以降、いきいき交歓会、大会に健康で楽しくテニス出来る様に心掛けていきますのでよろしくお願い致します。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

◆ 県南ブロックの活動状況 ◆

色摩 浩三

平成19年4月にスタートした県南ブロックの活動も2年を経過した。地域が広範囲のため、地区世話役として、尾島さん(岩沼)、佐藤さん(角田)、星さん(柴田)、色摩(蔵王)、そして仙台方面は奈良さんにお願ひし活動を行った。当初、年3回の交歓会を計画していたが、4月に予定していた蔵王町での交歓会は地元世話役のおこないが悪いのためか、2週連続の雨のため中止、6月、10月の2回となった。

第1回は6月27日(金)グリーンピア岩沼で県南16名、仙台13名、計29名(初参加5名)で梅雨の影響もなく対抗戦形式でのテニスを楽しんだ。

2回目は10月17日(金)同じくグリーンピア岩沼で、県南12名、仙台9名、計21名(初参加3名)の参加者で、途中ゴロゴロという雷の歓迎もあったが、一日楽しい交流を図ることが出来た。仙台方面の方には行事の多い中、参加、協力いただき、また地区の世話役さんには雑多なことまでお手伝い頂き本当に感謝したい。

21年も4、7、10月の3回程度計画したい。仙台との距離の問題もあり、県南ブロックの交歓会がそのまま、いきいきテニスの会員増加に結びついていないが、シニアの人がテニスを楽しめる場をつくるという意味はあり、仙台での行事のPRも行い、関心を持ってもらいたいと思っている。県南の参加者は約15名前後で推移している。今後増えてゆくかどうか見ながら活動内容も再検討したいが、とりあえず21年は今のやり方でゆきたい。

仙台関係者にも無理のかからない範囲でご協力をお願いしたい。



第2回県南ブロック交歓会参加者(グリーンピア岩沼)

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

い経験であった。パートナーを務めてくれた宮沢氏のお陰である。その他、テニスを始めてから実に多くの方々のお世話や御助言を頂いている。感謝の気持ちでいっぱいである。

「絵を描くこと」は私の続けている生涯のテーマであり、今の所、2年に一度のペースで市内で個展を開いているが、テニスを始めてからあらためて感じることは、絵も体で描くものだという当り前のようだが、身体的な感覚であり、頭でのみ考えることを越えた根元的な何かであるということである。

この原稿が皆さんの眼にふれる頃は、私は80歳になっているはずである。膝関節痛や視力の衰えに悩まされても居り、もう何時終わってもおかしくない歳ではあるが、願わくばいましばし、いや今日一日、テニスが続けられん事を！

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※



テニスで学んだこと

館内 規之

「SPORTS」とはどんな意味なのか？ スポーツの語源はラテン語の「Portare」（ポルターレ＝ものを運ぶ）に由来したもので「Deportare」（デ・ポルターレ＝生活から離れる）がフランスに渡り、「Desporter」デスポーター＝（Des 離れる＋porter 運ぶ）物を運ぶのをやめるという意味のようです。

この頃は、「仕事から離れる」とか「生活から離れる」などを意味し、気分転換したり、楽しい感情を発散させたりするものであれば「Desporter」とされたようです。

イギリスに渡り、「disport」（ディスポータ）または「desport」（デスポータ）となり、フランスとイギリスを行ったり来たりし、イギリスで16世紀に「dis」「des」が省略され「SPORT」と表記されるに至った。英語の「スポーツ」は「遊ぶ」とか「戯れる」「楽しむ」などの意味があるようで、複数の「S」を付けると「娯楽」という意味となるようです。スポーツを実践している私どものテニスは、その範疇に入っているようです。

私がテニスを始めた動機は、全日本スキー連盟教育本部からブロック技術員という役職の委嘱を受け、それまで競技スキーをしてきましたが、オフシーズンにおける基礎体力の維持・増進等の必要性を感じたことです。やりたいスポーツに「硬

式テニス」と考えテニス・スクールへ通い指導を受けました。

その後会員制クラブに入りテニス仲間が少しづつ増え、コーチの方々に技術的な指導を受け何とかシングルスやダブルスの試合に出られるようになったものの結果は散々でした。そして旧「宮城県壮年テニス連盟」役員の方の勧めで仲間入りをさせて頂き、お世話役の運営委員も務めさせて頂き、様々なテニス仲間との出会いが始まりました。

本連盟の三大大会や東北マスターズ、東北ベテラン選手権、県大会等々のシングルスやダブルスなどに参加してきました。様々な大会に参加し感じたことは、クーベルタン男爵の『参加することに意義がある』までは誰でも知っておりますが、その後続く言葉は『そして勝つことである』ということです。そのために日々練習を重ねています。私は目的意識と練習課題をもって練習を積み重ねることが上達のポイントだと思います。

テニスはフィットワーク、メンタル、スキル等々のスポーツかと思っています。特にメンタル面を強く保つには体力がタフであることを要し「モチベーションを高める」ための要件のひとつと思います。

私は、テニスのお陰でスキーも加齢とともに身体能力の減退を感じてはいますが、年齢に応じた斜面選定、状況に合った滑り方で時にはエレガントに、また時にはアグレッシブな滑り方で楽しんでいきます。

最後にこれまでスキー、テニス等を通じ、様々な経験をし体感したことを述べてみたいと思います。

スポーツへの関わり方について

◎誰のためにスポーツをやっているのか。

自分のためか・他人のためか・その他のためになのか。（名誉・郷土・チーム・練習結果や自己満足などのためかなど）

◎スポーツで教えられることは何か。

◎問題意識を持っているか。

◎自分はここに（試合会場）何をしに来たのか。

◎感動を感じるようにしているか。

◎負けた悔しさを感じているか。

負けてさらに何かを体得し、強くなる。

◎目標を高く持っているか。

◎よき敗者であれ。

勝つ者は一人または1チームしかいない、他は皆負けていく、対戦相手に感謝の心を持つ

ているか。

私は、今後とも「スポーツをやらせてもらっていることに感謝し、負けて学び、勝たせて頂いたという感動を感じるようなプレーヤーでありたい。」さらにスポーツを通じ、自分だけでなく、「思いやりや感謝する心」を持ち「感動を感じる心」を忘れてはならないと思っています。

そして会員の皆さんと共に健康の維持・増進を図りながらいつまでも楽しいテニス仲間でありたいと願っています。

終わりに“この一球は”を参考に・・・

『この一球は、絶対無二の一球なり、
されば心身を挙げて一打すべし
精神力を養ふべきなり、この一打に今の自己
を發揮すべし、これを庭球する心といふ』
元早稲田大学庭球部員
第一回全日本選手権シングルス優勝
元デビスカップ日本代表選手
～福田雅之助～

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※



私のテニスライフ

井澤 三幸

私のテニスの原点は宮城野原早朝テニスクラブではないでしょうか。始めたのが40代でしたので、かれこれ30年近くテニスに係わることになります。クラブは朝5時から7時迄で、コートも硬式7面、軟式3面で活動しておりました。硬式は特に参加者が多く、時間を決めてストロークのみを練習するといった事もありましたが、自分は他の人に迷惑をかけないように、緊張していた事を思い出します。また、コートとコートの間古い藤棚があり、花の季節には良い香りがし、花吹雪の中で楽しんだ日もありました。その後、主人と二人で「宮城県壮年テニス連盟」に入会し、たくさんの友人もできました。

残念ながら平成7年に山形に戻ることにになり、「山形でテニス出来るのだろうか」と心配しましたが、当時会長であった伊藤一利さんに「たまには仙台に出てこいよ」とお声をかけていただき、ご夫妻には公私共に大変お世話になりました。後に、他県に移っても会員継続できる規約も作られ、連盟の会員でいられる事に感謝しております。

現在、主人は日大山形高校女子テニス部のコーチをしており、毎日忙しい日々を送っております。

また、私には91才の母がおられますので、デイサービスに行っている週に1から2回仲間とテニスを楽しんでおります。山形に移って13年経ちました。こちらでの友人もたくさん出来、ねんりんピックにも主人と私、共に2回出場し、昨年は鹿児島に行ってきました。これからは主人と二人で健康で生き生きとした人生を送り、いつまでもテニスを楽しめるようになりたいと思っています。

今年こそ連盟の行事に参加して皆様にお会い出来ることを楽しみにしております。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※



機会を大切に

加藤 精一

いきいきの行事である交歓会・各種大会ともに出席率悪く、また大会に参加しても成績が残せず、〇×大会優勝なんて縁の遠い「いきいき3年生」です。退職までは会社のテニス部で何かとテニスをやる機会がありましたが、退職後は数年ほとんどやっていませんでした。そんな時、06年秋の県選手権ダブルスのお誘いがあったが成立せずやむなくシングルスへ、でもファイナル負け。これをきっかけに65歳以上シングルスに出来るだけ参加しようと心掛け、いきいき入会に加えシングルス練習会に参加させて頂く等で、月1、2回のペースから週1、2回へと短時間ではあるがテニスをするようになり、07年、08年共に県の4大会で3勝できました。どちらも春季は勝てませんでしたが負けたのは名高きT氏とS氏故上々の出来でした。

昨年の新聞記事に、プロ野球の世界でよく聞く「好機を逃すとピンチに」と言う通説は「錯覚」とありましたが(05年の846試合で検証(名大教授))、小生のテニスでは決めるべき時に決められないと必ずと言って良い位そのポイント(多くはゲーム)を落とす。ストローク、ボレー、スマッシュ等ミスを少なくすることから、サーブなら入って当たり前そしてコースを狙う。高齢者の仲間入りし反応が悪い分子測を働かず等々課題は山積しています。また、いきいきの先輩方が出場されている大きな大会に近い将来出られたらいいなど、昨年から日本テニス協会に登録し近県のベテラン大会に参加してみましたが、力の差は歴然でポイント取得など程遠いと感じています。でも「継続は力なり」。無理しないことが継続の秘訣かも知れないが、多少無理しないことには向上しないとも

感じています。勝に拘ることはないが勝てなくてもいいやでは進歩がないし、誰でも多少なりとも強くなりたい筈。どうしたら勝てるかを考えながら今更無理を承知の上でステップアップを図りたい。いきいきを通じて他サークル・グループへの繋がり・拡がりも多くなり、これらの機会を大切にし、健康増進・技量の向上に努めたい。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※



テニスと私

水戸 真理子

この機会に感謝です。私は、テニスを始めて10数年になります。まさかテニスを始めるなんて思ってもいませんでした。学生時代から、子育てしながらもバドミントンを続けて来ました。しかし、45才の時、試合中にアキレス腱断裂と言う怪我に、自分の体力の欠点が・・・。

＝歩くのが嫌い、走るのも嫌だった私＝近所にテニスをしていた知人からテニスを勧められて渋々始めたのがきっかけでした。バドミントンとテニスの二股をかけた時も・・・。怪我との戦い

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

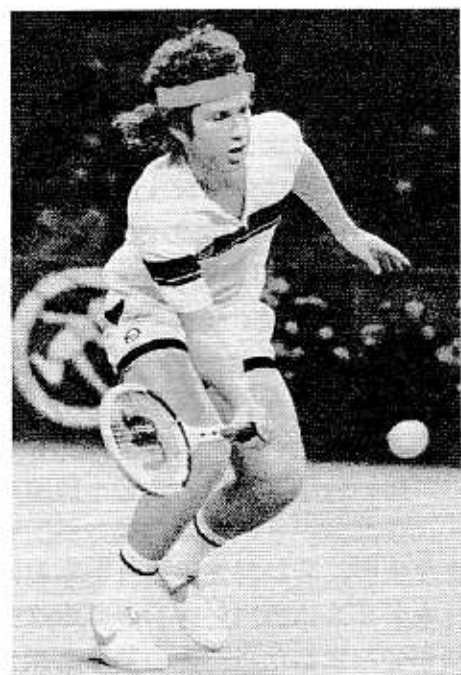
でした。好きなスポーツがやめられず今も迷いながら続けています。

最初は、テニスの難しさ、先ず、ストロークが思ったように飛んでくれない。お互いにあっちこっちと、ラリーも儘ならずボール拾いにあけくれていた様な気がしました。テニスが楽しくなったのも、7、8年前、ワールドのレンタルに人数が足りないとの事で誘っていただいた時、目から鱗でした。皆さん、バンバン打ち合って戦っているではありませんか。凄い！凄い！びっくりでした。私も頑張りたい。この人達に又誘って頂ける様に・・・。『頑張るぞー！』気が付けば、今の私。無我夢中で走り続け、今も尚走っています。

いろいろな方々の出逢いがあり、多くの仲間が出来、その仲間の一人の方に、この「いきいき」の一員に入れて頂きました。皆さんほんとに楽しそうにテニスを頑張っている様子が伝わって来ます。

私もこれから皆さんの仲間に溶け込める様に頑張りたいと思います。よろしく、お願いいたします。

クイズに挑戦！！



左の写真はコートの魔術師「ジョン・マッケンロー」が芸術的なドロップショットを放った瞬間のフォームです。しかし、この写真には大きな間違いがあります。さて、その「間違い」とは何でしょう？

[ヒント]写真の全体を「瞬間的にパッとご覧下さい」細かい部分には余りにしないように。

(マッケンローファンなら直ぐ気がつく筈)

応募方法：電話にて下記宛て直接解答する。
 応募〆切：平成21年5月31日（日）
 電話番号：

正解者多数の場合は、連盟役員立ち会いの下に抽選で2名様にテニスグッズ（小物）を贈呈します。

◆ 平成21年度年間行事予定 ◆

開催日	行事名	会場	申込み締切日
4月23日(木)	Weekday 交歓会	七北田公園コート	自由参加
4月30日(木)	春季連盟祭り(団体戦・総会)	シェルコムせんだい	4月20日必着
5月12日(火)	Weekday 交歓会	七北田公園コート	自由参加
5月23日(土)	年齢別ダブルス大会	七北田公園コート	5月14日必着
6月19日(金)	Weekday 交歓会	泉総合運動場コート	自由参加
7月14日(火)	Weekday 交歓会	南インターTC	自由参加
7月25日(土)	混合ダブルス大会	七北田公園コート	7月16日必着
8月17日(月)	Weekday 交歓会	泉パークタウンTC	自由参加
9月12日(土) 13日(日)	対いわきVTC親善交流大会	平テニスコート 新舞子ハイツコート	7月28日必着
9月16日(水)	Weekday 交歓会	七北田公園コート	自由参加
10月07日(水) 08日(木)	東北マスターズテニス大会 (宮城)	泉総合運動場コート シェルコムせんだい	7月20日必着
10月15日(木)	Weekday 交歓会	宮城野原コート	自由参加
10月24日(土)	技量別ダブルス大会	七北田公園コート	10月15日必着
11月03日(火)祝	連盟祭り(団体戦)	七北田公園コート	10月22日必着
11月13日(金)	Weekday 交歓会	七北田公園コート	自由参加
12月16日(水)	冬季混合ダブルス大会	シェルコムせんだい	12月 8日必着
H22 1月08日(金)	新春技量別ダブルス大会	シェルコムせんだい	12月30日必着
2月10日(水)	年齢別室内ダブルス大会	シェルコムせんだい	2月 2日必着
3月24日(水)	Weekday 交歓会	泉総合運動場コート	自由参加

◇上表中、□ 太字で書かれた行事に参加する場合は、前もっての申し込みが必要です。
(詳細は16頁からの「諸行事の参加申込方法について」及び「大会要項」をご覧ください)

◇Weekday 交歓会は従来通り自由参加とし、時間は10時から5時までです。都合のよい時間にお誘い合わせの上ご参加下さい。会場は、年間行事予定に示してある通り、5つの会場を使用します。参加費は700円です。なお、試合方法は連盟の趣旨(会員相互の交流・親睦を深め、健康の維持増進に努める)を踏まえ、原則として試合毎にパートナーを変える方式で行いたいと思いますのでご協力お願いします。入会まもない方や会員に知り合いの少ない方、体力などに少々自信がなくて知らない人との試合はどうも、と思っている方も、気を楽しんでもって参加して下さい。パートナーや対戦相手で不安でしたら、当日の担当役員(男性2、女性2)に申し出て下さい。出来るだけ意に沿うように努めたいと思います。

上記の諸行事の他に、下記の大会が開催されます。こちらの方にもご参加頂けますようご案内いたします。(男女共60歳以上対象)

開催日	行事名	会場	申込み締切日
4月25日(土)	宮城県テニスマスターズ春季大会	シェルコムせんだい	4月15日
10月 4日(日)	仙台市高齢者いきがい健康祭	七北田公園コート	9月20日
11月28日(土)	宮城県テニスマスターズ秋季大会	シェルコムせんだい	11月18日

◇宮城県テニスマスターズ春季・秋季大会はねんりんピック宮城県代表の選考会を兼ねており、昨年秋の「県テニスマスターズ大会」と春の「県テニスマスターズ大会」の成績により21年の選手が推薦されます。今年秋の「県テニスマスターズ大会」は22年の選手選考の参考大会となります。
◇仙台市高齢者いきがい健康祭は22年のねんりんピック仙台市代表を選考する大会となっております。詳しい案内は「市政だより」8月号に掲載されます。応募要領は市民センター、体育館、スポーツ施設、コミュニティーセンター等に置いてあります。お問い合わせは担当の北島宏(291-8583)までお願いします。

春季連盟祭り(団体戦・総会) 要項

期日：4月30日(木) 9:00～17:00
8:45分までに集合
会場：シェルコムせんだい(砂入り人工芝6面)
種目：女子、男子、混合の各ダブルスによる団体戦
試合方法：参加者全体を4チームに分けて、女子、男子、混合の各ダブルスの3種目による団体戦を行います。
尚、当日連盟の総会が開催されますので多くの方々のご参加をお願いします。
参加費：500円/人(当日会場にて徴収します)
(賞品はありません)
参加申込：所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」に必要事項を明記して申し込んで下さい。
(単独申込)
申込受付：4月1日～ 締切日：4月20日必着
申込み先:!

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

年齢別ダブルス大会要項

期日：5月23日(土) 9:00～17:00
8:45分までに集合
会場：七北田公園コート(砂入り人工芝8面)
種目：女子：110以上、120以上、130以上、140以上
男子：120以上、130以上、140以上、150以上
(平成22年4月1日現在の満合計年齢)
試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式。
参加費：1200円/人(当日会場にて徴収します)
表彰：各種目毎に 優勝、準優勝、3位まで表彰します。
(ただし、参加組数により変わります)
入賞者を除きお楽しみ抽選会もあります。
参加申込：所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」に必要事項を明記して申し込んで下さい。
過去に優勝した組は、パートナーを替えるか、若い年齢種目に出場して下さい。尚、単独での申込も可ですがパートナーはご一任下さい。
申込受付：5月1日～ 締切日：5月14日必着
申込み先

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

混合ダブルス大会要項

期日：7月25日(土) 9:00～17:00
8:45分までに集合
会場：七北田公園コート(砂入り人工芝8面)
種目：混合ダブルス
Aクラス、Bクラス、Cクラス、Dクラス
試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式。
参加費：1200円/人(当日会場にて徴収します)
表彰：各種目毎に 優勝、準優勝、3位まで表彰します。(ただし、参加組数により変わります)
入賞者を除きお楽しみ抽選会もあります。
参加申込：所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」に必要事項を明記して申し込んで下さい。
過去に優勝した組は、パートナーを替えるか、上位のクラスに出場して下さい。尚、単独での申込も可ですがパートナーはご一任下さい。
申込受付：7月1日～ 締切日：7月16日必着
申込み先:

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

技量別ダブルス大会要項

期日：10月24日(土) 9:00～17:00
8:45分までに集合
会場：七北田公園コート(砂入り人工芝8面)
種目：技量別ダブルス
女子：Aクラス、Bクラス、Cクラス
男子：Aクラス、Bクラス、Cクラス
試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式。
参加費：1200円/人(当日会場にて徴収します)
表彰：各種目毎に 優勝、準優勝、3位まで表彰します。(ただし、参加組数によりかわります)
入賞者を除きお楽しみ抽選会もあります。
参加申込：所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」に必要事項を明記して申し込んで下さい。
過去に優勝した組は、パートナーを替えるか、上位のクラスに出場して下さい。尚、単独での申込も可ですがパートナーはご一任下さい。
申込受付：10月1日～ 締切日：10月15日必着
申込み先:

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

連盟祭り(団体戦)要項

期日：11月3日(火) 9:00～17:00
8:45分までに集合

会場：七北田公園コート(砂入り人工芝8面)
種目：女子、男子、混合の各ダブルスによる団体戦
試合方法：参加者全体を4チームに分け、各チーム
毎に女子、男子、混合の各ダブルスペアをつ
くり種目毎の対戦を行います。

参加費：1000円/人(当日会場にて徴収します)

表彰：各チーム毎の成績を集計し、優勝、準優勝、
敢闘賞の順に表彰、賞品の授与があります。

参加申込：所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」
に必要事項を明記して申し込んで下さい。

(単独申込)

全体のバランスをとるために役員会でチーム
分けを行い、チーム内でパートナーを決めるよ
うにします。

申込受付：10月10日～ 締切日：10月22日必着

申込み先：

新春技量別ダブルス大会要項

期日：H22年1月8日(金) 9:00～17:00
8:45分までに集合

会場：シェルコムせんだい(砂入り人工芝6面)

種目：技量別ダブルス
女子：Aクラス、Bクラス、Cクラス
男子：Aクラス、Bクラス、Cクラス

試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式。
パートナーは1回ごとに変わるものとします。
尚、パートナーは役員会にご一任ください。

参加費：1000円/人(当日会場にて徴収します)
(賞品はありません)

参加申込：所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」
に種目区分を明記し単独で申し込んで下さい。

申込受付：12月15日～ 締切日：12月30日必着
申込み先：

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

冬季混合ダブルス大会要項

期日：12月16日(水) 9:00～17:00
8:45分までに集合

会場：シェルコムせんだい(砂入り人工芝6面)

種目：混合ダブルス
Aクラス、Bクラス、Cクラス

試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式。
パートナーは1回ごとに変わるものとします。
尚、パートナーは役員会にご一任ください。

参加費：1000円/人(当日会場にて徴収します)
(賞品はありません)

参加申込：所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」
に種目区分を明記し、単独で申し込んで下さ
い。

申込受付：11月20日～ 締切日：12月8日必着

申込み先：

年齢別室内ダブルス大会要項

期日：H22年2月10日(水) 9:00～17:00
8:45分までに集合

会場：シェルコムせんだい(砂入り人工芝6面)

種目：女子：55歳以上、60歳以上、65歳以上
男子：60歳以上(55歳以上を含む)
65歳以上、70歳以上
(平成22年4月1日現在の満年齢)

試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式。
パートナーは1回ごとに変わるものとします。
尚、パートナーは役員会に一任ください。

参加費：1000円/人(当日会場にて徴収します)
(賞品はありません)

参加申込：所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」
に種目区分を明記し、単独で申し込んで下さ
い。

申込受付：1月20日～ 締切日：2月2日必着

申込み先：

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

対いわきVTC親善交流大会要項

第23回親善交流大会。今年度はいわきベテランテニスクラブが担当となります。現在準備進行中ですが判明している日程等を中心にご案内いたします。

日程調整のうえ奮ってご参加下さい。

期日：9月12日（土）、13日（日）

会場：9/12平テニスコート(砂入り人工芝6面)

9/13いわき新舞子ハイツコート

(砂入り人工芝4面)

参加費：15000円（宿泊、宴会、コート代含む）予定

参加申込：所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」に必要事項を明記して申し込んで下さい。

参加申込者には、集合場所・時間、解散時間等、詳細について後日ご連絡いたします。

宿泊場所：いわき新舞子ハイツ

申込受付：7月1日～ 締切日：7月28日必着

申込み先：

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

東北マスターズテニス大会(宮城)要項

第19回東北マスターズテニス大会は当連盟が主管で開催されます。大会要項など現在準備中ですが、現時点で判明している範囲内でご案内いたします。

期日：10月7日（水）、8日（木）

会場：泉総合運動場コート(砂入り人工芝18面)

シェルコムせんだい(砂入り人工芝6面)

開催種目：女子：110以上、120以上、130以上、140以上、(150以上)

男子：120以上、130以上、140以上、150以上、(160以上)

(平成22年4月1日現在の満合計年齢)

女子75歳以上、男子80歳以上は単独申込み可。それぞれ3組以上で成立。

優勝ペアは3年間同一ペアでの参加は出来ません。

参加費：参加費3000円、宿泊費13000円(含懇親会費)、弁当代(お茶)1600円(2日分)予定

参加申込：所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」に必要事項を明記して申し込んで下さい。

申込者には詳細が判明次第ご連絡いたします。

宿泊・懇親会場：佐勘（秋保温泉）

申込受付：7月1日～ 締切：7月20日必着

申込み先：

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※
—19—

宮城県テニスマスターズ春・秋季大会要項

春季大会の結果は平成21年9月開催の「ねんりんピック北海道大会」、また、秋季大会の結果は平成22年10月開催の「ねんりんピック石川大会」の選手選考資料となります。

「ねんりんピック」に出場を希望される会員は、女子60歳以上、男子60歳以上、70歳以上の種目にご参加下さい。

県テニス協会への「個人登録」は必要ありません。

開催種目：女子 55歳以上、60歳以上、65歳以上

男子 60歳以上、65歳以上、70歳以上

年齢は「ねんりんピック」開催年翌年の4月1日現在の満年齢です(学年齢)。ただし出場組が3組に満たない種目は実施されません。

参加費：1000円/人(当日納入)

参加申込：当連盟会員に限り、所定の「申込ハガキ」に必要事項を明記して申し込んで下さい。

県テニス協会あての直接申込も可能です。

春季大会

期日：4月25日（土）9：00～

会場：シェルコムせんだい(砂入り人工芝6面)

申込締切：4月15日必着

秋季大会

期日：11月28日（土）9：00～

会場：シェルコムせんだい(砂入り人工芝6面)

申込締切：11月18日必着

申込み先：

他の詳細は県テニス協会または当連盟事務局までお問い合わせ下さい。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※



みやぎいきいきテニス連盟旗

みやぎいきいきテニス連盟規約

＜ 総 則 ＞

第1条 (名 称)

本会はみやぎいきいきテニス連盟と称する。

第2条 (会 員)

本会は次に掲げる正会員、特別会員及び賛助会員を以て構成する。

- ・正会員：宮城県内に居住または勤務する、男子60歳以上、女子55歳以上のテニス愛好者とする。但し、正会員が県外に転出した場合は、本人の希望により正会員の資格を継続することが出来る。
- ・特別会員：正会員の中で80歳以上の会員を特別会員とする。
- ・賛助会員：本会の趣旨に賛同し、本会の活動を支援する個人及び団体とする。

第3条 (目 的)

本会はテニスを通じて、会員の健康増進と相互の友好を図ることを目的とする。

第4条 (活動内容)

本会はその目的を果たすため次の活動を行う。

- (1) テニス大会
- (2) テニス練習会
- (3) 会報の発行
- (4) その他、本会の趣旨に沿い役員会にて企画されたこと。

＜ 会 計 ＞

第5条 (事業年度)

本会の事業年度は、4月1日に始まり翌年の3月末日に終わる。

第6条 (活動費)

本会活動に必要な経費は、正会員が納める年会費と、大会・練習会ごとに徴収する参加費及びその他の寄付金を以てあてる。

第7条 (会 費)

正会員は、年会費を納めなければならない。但し、特別会員は、これを免除される。年会費は総会で定める。

第8条 (予算・決算)

役員会は、年度末に翌年度における諸活動の実行計画及びそれに伴う予算案並びに、当年度の決算案を作成し、総会の承認を得なければならない。

第9条 (緊急・臨時支出)

当年度の予算案に提示されていない緊急・臨時の費用については、役員会の議を経て支出することが出来る。但し、この場合においては次の総会に報告し、総会の承認を得なければならない。

第10条 (会費納入期限)

会費の納入期限は、毎年9月末とする。納入

なき場合は休会扱いとし、以後の通信連絡は行わない。年度内に納入なき場合は退会扱いとする。

＜ 役員・役員会・総会 ＞

第11条 (役 員)

本会の活動を組織的に実行するために必要数の役員を置く。役員の任期は2年とし、前年度の総会において選出する。再任または重任は妨げない。各役員は、第12条に示す会務に就く。

- ・会 長：役員相互選によって会長1名を選任する。会長は本会を代表すると共に、第12条に定める役員会を招集しその議長となる。
- ・副会長：副会長は、役員の中から1ないし2名を会長が指名する。副会長は会長を補佐し会長に事故ある時はその役を代行する。
- ・会計監事：2名の会計監事を前年度の総会において選出する。会計監事は会計役員の行う業務の監査を行う。任期は2年とし、再任または重任を妨げないが、原則として引き続いて3年を超えることは出来ない。

第12条 (役員会)

役員会は、役員会で定めた専門部会と事務局をもって構成し、本会の諸活動を具体的に企画実施するための協議を行うと共に会務を掌理する。

第13条 (総 会)

総会は、全会員で構成し、本会の活動方針の大綱を定め、役員会が提示する活動計画案・予算案及び活動報告案・決算案を審議する。総会は会員の十分の一以上の出席によって成立する。なお、委任状を以て出席に代えることが出来る。

第14条 (事務局)

本会の事務を処理するために事務局を置く。事務局は、会員の動向・連絡調査・会計等の任務を掌理する。事務局所在地は、事務局(長)担当者宅とする。

＜ 付 則 ＞

第15条 本規約に定める他、本会の具体的な企画実施に必要な細則は役員会で定めるものとする。

第16条 本規約の改正は総会の議決による。

＜ 細 則 ＞

第17条 平成14年12月現在、60歳未満の男子会員及び55歳未満の女子会員は正会員として当連盟に留まることが出来る。年齢別大会等の実施内容については、その時点の状況を考慮して、役員会において検討を行い善処する。

(平成8年3月26日改正)

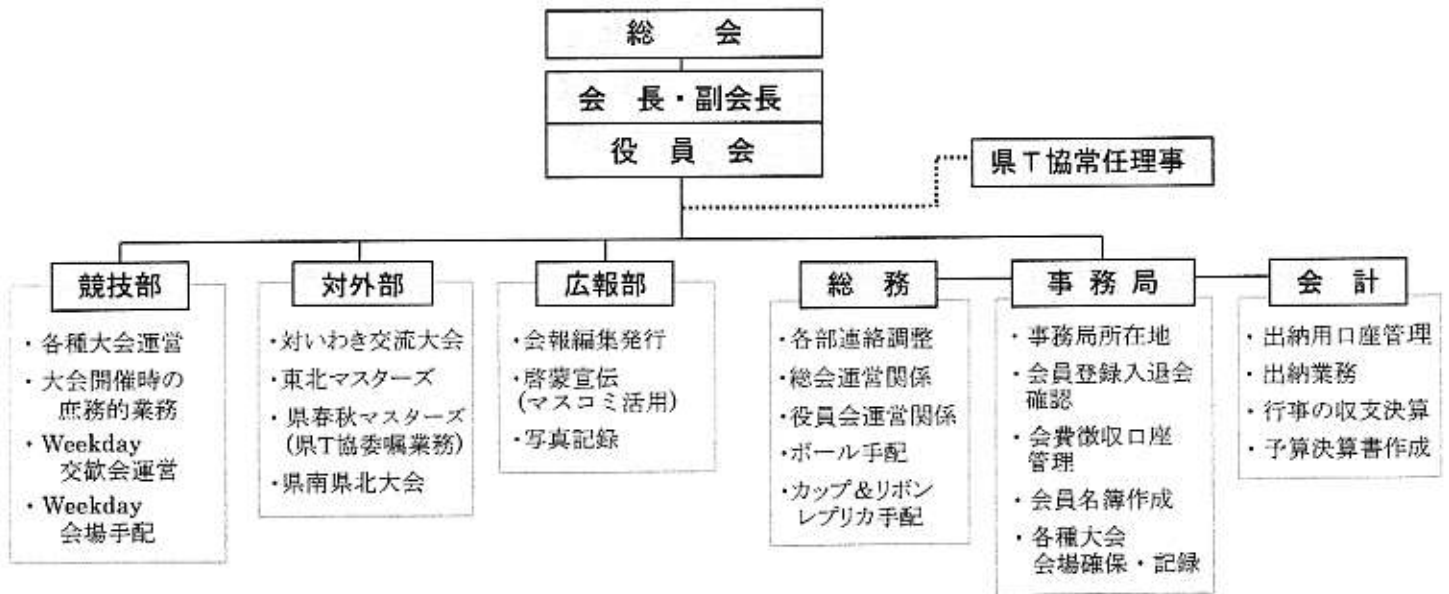
(平成9年12月6日改正)

(平成14年12月7日改正)

(平成15年12月6日改正)

(平成21年1月9日改正)

平成21年度 みやぎいきいきテニス連盟組織体制



役員会風景 (泉総合体育館会議室)



編集後記

はじめに、第40号会報に投稿して頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。

昨年度は規約改正もあり「改正後の規約」、「多くの方々から頂戴しました寄稿文や特集記事」また「クイズ」等もあって、とても盛り沢山の内容になっています。是非ページをめくって下さいね!!

当連盟も23年目を迎え、益々、いきいき・はつらつとテニスの輪が広がっております。会報もこの広がり・発展に相応しい、読みやすく、皆さんが楽しめるものを、と思っています。

会報に対してお気付きの点がありましたら、どうぞご意見をお聞かせ下さい。皆様方の声を

反映させ、より良い編集を心掛けてまいりたいと思います。宜しくお祈りしま〜す。

さて、私事ですが、広報の仕事をさせて頂いたお陰で一冊の会報が出来るまでの苦勞、そして喜びを実感する事が出来ました。こんな嬉しい事はありません。感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

(布留川 三枝子)

編集発行 みやぎいきいきテニス連盟役員会事務局